

大分鶴崎高校

別府溝部学園短期大学の寺野先生と杉本先生が、大分鶴崎高校の1年生（6クラス）に出前講座を実施してくださいました。

R6.12.10(火)～12.16(月)

「保育者のお仕事をのぞいてみよう」

講師：別府溝部学園短期大学 寺野先生

寺野先生は、保育者の仕事内容に触れながら、『子どもと共に笑顔になれる保育の魅力』を存分に伝えてくれました。



『保育士ってどんな人のイメージ？』
『子どもの苦手な野菜TOP3はなんでしょう？』
近くの人と意見交換をしたり、発表したり…
講義に楽しく参加をしながら保育士についてや、子どもの気持ちを考えました。

PICKUP / ～色水を作ってみよう！～

子どもは体験が大事。いろんな体験の術を保育者が知っておくことは大切なため、大学では実践重視でいろんな遊びを学んでいくことを教えてくれました。

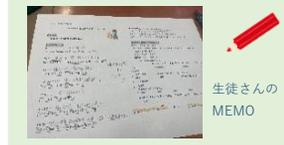
水を入れたペットボトルにピンクのお花紙をちぎって入れて…

「おおー！」「すげー」「きれーい！」

シェイク、シェイク！



「子ども達に個性があるように、先生達にも個性があっていいんです」



“向いてないかも”と決めつけず、自分の持つ個性を活かしていくことの大切さも伝えてくれました。

「わくわくどきどき保育の遊びを体験」

講師：別府溝部学園短期大学 寺野先生・杉本先生

◎こどもの興味をひきつける遊びの体験



◎こどもの世界を育む！絵本の世界を体験



『いただきバス』の読み聞かせ。
絵本の前の手遊びも一緒に…♪

◎グループで楽しむ遊びの体験



子ども達は遊びの中でルールを知ります。勝敗があること、負けたら悔しいということ、ルールを守ることが大切だと感じる…保育者は様々な気持ちの変化を読み取りながら、子どもにとって成功体験につながるように遊びの仕方を工夫します。そんな話を聞きながら、“こども”時代に戻ったように、生き活きとゲームを楽しむ生徒さん達の表情が印象的でした。

生徒の感想・学び

- ◎将来、子どもと関わる仕事をしたいと思っているので、今回の講座はとても役に立ちました。
- ◎講座を聞いて、保育についてもっと学びたいと思った。実技もして楽しかった。
- ◎教材だけではわからないことも、講義や実技を通して多くのことを学べたので、保育士を目指している立場としてすごく貴重でした。このような体験をすることができてありがたかったので、今後も続けてほしいなと思いました。
- ◎保育士は子ども達のことをたくさん考えて工夫しているんだということがわかりました。将来、保育士という選択もいいなと思いました。
- ◎一つ一つのポイントを聞くと子ども達のためにたくさんの工夫をしてくれていてとても感動しました。
- ◎静かにしてほしい時、ただ言葉で伝えるだけでなく自分も声の大きさを変えたり、手遊びをしたりすることが大切だとわかりました。遊びながら子どもの気持ちを考えられてとても楽しかったです。
- ◎こども園にいた頃に大好きだった先生のことを思い出して、今すごく感謝を伝えたくなった！